



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

**理念** 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

#### 患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

#### 患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に  
医療機能の充実を図ります

#### 完結型医療

地域の医療機関との連携を行い  
安心できる医療の展開を行います

#### 社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療  
ボランティアの活動を行います

#### 医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の  
育成を行います

## 第14回南九州3県県境地域医療連携懇話会、 第46回地域協議会を開催しました！



院長挨拶



岐部明廣先生



特別講演 佐藤敏信先生



地域協議会



新任医師挨拶



情報交換会

平成30年6月22日（金）18:00からあゆの里にて第46回地域協議会、18:30から第14回南九州3県県境地域医療連携懇話会を開催しました。会には、人吉球磨、えびの、伊佐、湧水の3県医科歯科医療機関、薬剤師会、地域協力会、行政機関の方々、病院スタッフを含め、総勢約115名の出席を頂きました。

まず、久留米大学 特命教授 佐藤敏信先生より、「2018年診療報酬改定から今後の医療を展望する」のご講演を賜りました。懇話会の部では、開会のご挨拶を人吉市医師会 岐部明廣先生、伊佐市 隈元新市長に賜り、球磨郡医師会 山村正統先生の乾杯のご発声の下、懇話会がスタートしました。

会の中では、ご参加頂きました方々のご紹介、当院の新任医師の紹介、当院訪問看護ステーション 藤村看護師長

より、「当院訪問看護ステーションの紹介」のスライド発表をさせて頂き、終始なごやかな雰囲気での笑い声の絶えない会を進めることができました。日頃、なかなかお会いすることのできない方と直接顔を合わせお話しすることができ、親睦を深める良い機会となりました。

会の最後に、球磨郡公立多良木病院 大島茂樹企業長より締めめの挨拶を賜りまして、会を終えることが出来ました。

この度は、ご多用の中、多数ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。当院スタッフ一同、地域の中で連携を大切に、地域の中核医療機関として、しっかりと役割を果たしていきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

医療福祉連携室 今井 志帆

## 縫合勉強会 開催

5月8日、私たち研修医は縫合勉強会に参加させていただきました。

縫合勉強会は、糸結びと埋没縫合のレクチャー、およびキットでの実習という内容でした。

糸結びでは実際に結び目の強度を測ることができ、男結びや女結びなどの結び方や、結んだ回数によって強度が全然違うことが分かり、結び方を少し変えただけでこれほど大きな差が出るのかと驚愕しました。

埋没縫合ではきれいな縫合の仕方や、やりやすい方法などをとても丁寧に教わりました。また、隣で縫合をしていた研修医2年目の方々の縫合がすごく早くて丁寧で、



自分も早く先輩方のようになれるよう頑張りたいと思いました。

どちらの手技も外科では基本的なものであり、手術に入った際には研修医も実際にすることになるため、この機会に基本をちゃんと学べたことはとても有意義でした。指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。

臨床研修医 石内 聡一郎

## 褥瘡勉強会

昨年7月より、褥瘡対策のため、専従看護師として活動しています。

活動内容は、主に褥瘡対策に関する業務を行い、月2回ストーマケア外来をしています。専従となり、まずはこれまでの褥瘡対策について見直すこと、褥瘡ハイリスク患者ケア加算をとることを行ってきました。これまでに行ってきた褥瘡対策の変更は、ベッド上で患者の体の下にバスタオルを敷かないようにしてもらい、患者の体位変換のためにスライディングシートを導入しています。他に、エアマット使用時のシーツのずれも褥瘡発生要因であるため、シーツの変更も行っています。ポジショニングクッションについても、購入のための使用状況調査を行い、データをまとめ、購入につなげていくところで

す。褥瘡回診も多職種で月1回行っていました。医師の協力が得られ、他の週も褥瘡対策カンファレンスや回診を行うことができました。週1回の褥瘡カンファレンスの他にも病棟から褥瘡発生・持込の連絡を受けた時にはすぐに対応できるようにし、医師の介入が必要な時には連絡調整を行い、タイムリーに患者に合わせた褥瘡対策が行われるようにしています。

今後も皆さんのご協力を得ながら、褥瘡対策が向上できるように活動してまいります。



褥瘡看護師 繁富 香

## 院内感染対策研修会 ～薬剤耐性菌について～



薬剤耐性菌は、臨床場面でよく目にする言葉だが、専門性の高い先入観により独力で知識を深めようとしても、中々手を付けられていなかった分野であった。今回、研修会という形で非常に分かり易く解説して頂き、自身の見聞を広げることができ非常に有意義な研修となった。今回の研修で得られた知識は、今後自身で学ぶ為の良い足掛かりになった。これからも自己研鑽に努め、今後の臨床場面に活かしていきたい。

リハビリテーションセンター 言語聴覚士 片岡 士

## 熱中症予防強化月間

7月は熱中症予防強化月間です。

「なんとなくだるい」「食欲がない」といういわゆる夏バテというのを良く耳にしますが、実は熱中症のひとつの症状といっても過言ではありません。重度の熱中症は意識障害遷延・高体温状態となり命を落とすこともあり、予防が極めて重要です。

まずは環境調整。クーラーだけでなく扇風機も使うことで同じ温度でも快適さが違います。次に衣服の調整。Cool Bizを取り入れて快適に仕事が出来るようにしましょう。そして何より大事な水分補給。喉が渴いてから水をガブガブと飲むのは誤りです。喉が渴く前に、もしくは運動前にこまめに水分補給をしましょう。ビールで水分補給をすればいいとお考えのあなたは間違い、むしろ脱水を助長します。スポーツドリンクも実は糖分が多く、塩分が少ないです。大量発汗したときには水分のみでは無く塩分も摂取するように心がけましょう。

熱中症を予防し、暑い夏を乗り切りましょう。

総合診療科 平賀 円

## 第2回 地域医療サポーター養成講座、開催しました！

地域医療サポーターとは、地域住民の皆様が安心して医療を受けられるように、病気の予防のための知識などを習得し、自己研鑽に努めるとともにそれを地域へ発信していく役割を担う方です。

今回、認知症認定看護師の山口幸恵さんから『認知症の予防と対応について』お話をいただきました。適切な理解やその予防、認知症の方への接し方、対応の仕方などとてもわかりやすく、具体的な例を交えお話をいただきました。ここで、参加者の感想を一部ご紹介します。

- ・認知症についてくわしく話していただき、参加してよかったです。これからの自分の生活の中で役立てることが多くありました。
- ・自分の為に役立つ事。人事じゃなく進んでこのような講座を受けることの大事さ。勉強になりました。病気の予防に気をつけたい、為になることはお友達にも話したい。

当院では、地域医療サポーター育成のため、様々な講座を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております！

| 第3回                            | 内容                      | 担当者              |
|--------------------------------|-------------------------|------------------|
| 7月25日(水)<br>時間：13時～<br>場所：研修室2 | 『地域住民に知っていただきたい医療のアレコレ』 | 総合診療科<br>平賀 円 先生 |

申し込み、お問い合わせ先  
医療福祉連携室 TEL：0966-22-2191  
FAX：0966-22-7879  
(平日 8：30～17：00)

## 病院実習を通して学んだこと

救急救命士の就業前実習に際し、教育担当の方をはじめ、医師、看護師、医療スタッフの皆様には、大変お世話になりました。

今回の就業前実習を通して、医師へのファーストコール時に医療機関側が必要としている情報を正確に伝えることが大切であると改めて実感しました。これまでの私は、救急現場で得た観察や問診の結果を闇雲に医療機関側へ伝えているだけで、要点の整理が上手くできていませんでした。そのこともあって、実習中は得られた情報に優先順位をつけ、重要なものをピックアップする能力を身に付けることを目標にして臨みました。

来院される患者さんへの問診や観察を行い、その後のフィードバックをいただいたことで、実習前に比べてフィジカルアセスメント能力を向上させることができ、情報伝達をスムーズに行えるようになったことを実感しています。



実習で身に付けたフィジカルアセスメントと能力を活かし、今後の現場活動では今まで以上に患者に寄り添った救急活動を実践していきたいと思えます。そして地域住民の大切な命を救えるよう、向上心を持ってより一層精進します。業務多忙の中、貴重な経験と成長する機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。

人吉下球磨消防組合 救急救命士 中村 瑞樹

## 「はたちの献血」キャンペーン

「はたちの献血」キャンペーンは、毎年1月1日～2月28日までの2ヶ月にわたり全国で展開されています。(主催：厚生労働省・都道府県・日本赤十字社)

このキャンペーンは、献血者が減少しがちな冬季に安全な輸血用血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に広く献血に関する理解と協力を呼び掛けるものです。

日本国内では、病気などで1日平均約3,000人の方が輸血を必要としています。病気などで十分に血液が造れない人、手術や事故などで大量出血した人など、当院でも多くの患者さんが輸血をしています。

輸血前には、医療スタッフが患者さんに、輸血の必要性や有効性など分かりやすく説明し、輸血を受ける同意を得ます。その後、患者さんの血液型検査・不規則抗体検査や輸血する製剤との適合性を確かめる交差適合試験を行っています。輸血用製剤は、日本赤十字社が献血時の問診、献血された血液の感染症検査などを行い、安全な血液製剤の製造・供給に努めています。しかし、献血者がウイルスに感染直後の場合、ウイルス量が微量であり検査で検出することができません。現在は、輸血後のウイルス感染は限りなくゼロに近づいていますが、完全にゼロにすることができないのが現状です。そのため、輸血して3ヶ月後に輸血された患者さんの輸血後感染症検査を実施し、輸血により感染症に罹患していないか検査をしています。

臨床検査部 岩崎 李歩

## ～みんなで目指そう「麻しんがゼロ」～

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫が不十分な人が感染すると高い確率で発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

日本は、2015年にWHO（世界保健機関）から、土着の麻しんウイルスが存在しない「麻しん排除国」に認定されました。昨今、日本で報告された麻しんは、海外で感染した方が発症する輸入症例に由来しています。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。

**麻しんの予防接種が最も有効な予防法**といえます。

### 【麻しんの症状】

感染して10～12日の症状のない期間があった後、高熱、咳、鼻水が数日間持続し、口の中に小さな(約1mm)白い発疹ができます。熱は一度下がりますが、再び上昇し、その後体中に赤い発疹ができます。

### 【麻しんにかかったかもしれない?と思ったら!!】

かかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の注意点を確認してから、その指示に従ってください。また、医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

厚生労働省麻しんについてより抜粋

『地域の医療を未来へつなぐ～私達のミッション～』平成30年度 各部署目標報告

臨床検査部

1. 救急医療 / 周産期医療

- ①血液製剤の備蓄機関の継続  
他院への迅速な製剤払い出し  
1年間に100件ほどの他院への製剤払い出しの依頼があります。  
24時間対応ができるように徹底しています。
- ②24時間当番制の維持。  
緊急輸血を含む大量輸血時、緊急カテーテル検査、緊急結核菌検査の24時間オンコール体制の維持

2. 地域において必要な医師の育成

- ①研修医に検査実習を行う。  
2回/月。超音波・血液・細菌・生理・一般

3. 臨床評価指標

- ①質の向上：精度管理、メンテナンスの実施と記録
- ②技師のスキルアップ：  
認定技師取得  
研究発表会・研修会等への参加、部内勉強会継続

検査の依頼に対して、24時間対応ができる体制を維持・継続し、地域の中核病院としての役割が果たせるように努めております。また、検査技師の質の向上への取り組みも継続して行い、認定技師の増加も目指しているところです。

今後他職種との連携を密にして、医療の一端を担っていきたいと思います。

臨床検査部 杉本 勝郎

臨床工学部

① 医療機器管理の強化と安全管理

- 1. ER・HCU・手術室・病棟への医療機器メンテナンスの充実と技術支援
- 2. 医療機器の取扱いによる不具合を減少させる。
- 3. モニタの電源周り及び配線の安全管理(トラッキング現象防止)
- 4. 手術室や医療機器管理室の環境整備

② 経費削減

- 1. 共同購入機器の推進 (輸液ポンプ・電子血圧計等)

③ 治療の質の向上

- 1. 治療中(血液浄化時や心カテ時など)の患者急変予測力および急変

時における対応力の向上を図る。

- 2. 高気圧酸素治療を取り入れた質の高い医療の提供を図る。施行数の増加。

\*高気圧酸素治療装置を導入し5年が経過しました。症例数327名、施行数2577回と多くの患者様が治療を受けられ補助療法として良い効果をもたらしております。その結果年々増加し、導入して5年ですが県内有数の施行数を誇るまでになっております。多かった疾患は、腸閉塞、突発性難聴、骨髄炎、難治性潰瘍、ガス壊疽・壊疽性(壊死性)筋膜炎でした。これからも適応疾患に質の高い医療の提供を図っていきたいと思います。

リハビリテーションセンター

1. リハビリテーションの質と量の充実

- ①訓練の質的向上を図るため、生活行為に向けた目標を明確にした病棟主体の理学・作業療法と共に摂食・嚥下指導を実施する。
- ②患者目標の達成に向け、各職種間の連携をすすめ、運動時間の増加を図る。(セラピスト1人あたり1日に15単位を目標とする)
- ③転棟(地域包括ケア病棟も念頭に)や訪問リハへの患者移行においてセラピスト間の連携を強化し、シームレスなりハサービを提供する。

2. 診療報酬改定に応じたリハビリテーション業務の見直しと改善

- ①「リハビリテーション総合実施計画書」の徹底、「リハビリテーショ

ン退院指導」の実施件数向上を図る。

- ②間接業務内容の再確認を行い、役割の整理・分担を進め超過勤務の短縮等の業務改善を行う。

- ③業務内容の整理と共に業務マニュアルの刷新や物品管理の徹底を図る。

3. 365日実施を念頭に置き、リハビリテーション勤務体制の道筋づくりを行う

- ①タム制の勤務体制に基づき、計画的な勤務体制へと移行する。
- ②担当診療科を超えたりハビリテーションが実施できる人材育成を行う。

画像診断センター

<地域において必要とされる医療>

医療被ばく低減施設認定取得の推進(被ばく管理ソフトによる個人別運用)

スペクトラルCTを用いた造影剤低減撮影の推進

専門装置の操作および管理(専門・認定資格取得を含む)を習得できる業務ローテーション推進

<事業など個別事業・疾病に対する取り組み>

救急放射線医療におけるスタッフの標準化及び拡充

各装置の災害マニュアルの作成による災害時での対応強化

同利用装置の啓蒙活動(市民講座・病院フェスティバル等)

<医療安全対策の推進>

放射線被ばくに対する講習会の開催

MRI装置の安全講習会の開催

<放射線機器精度管理の強化>

高品質な画像の安定提供を保てるよう装置(点検・修理・調整・保守契約内容の検討)管理を強化

(管理ソフトを導入)

<経費削減>

検査物品の見直し(専用シリンジや生食、チューブなど)

看護部

1. 地域包括ケアシステムの要として、在宅医療提供体制に求められる医療機関を目指す。

1) 退院支援の強化に努める

- ①入院時支援加算取得のため、外来での入退院支援を実施する。
- ②上記の支援の実施のため他職種(薬剤部・栄養科・MSWと連携する。
- ③入退院支援加算1取得のため知識の向上とスキルアップに努める。
- ④他介護支援連携指導科、退院時共同指導料の加算取得に努める。

2) 訪問看護ステーションの開設に伴い地域の医療機関との連携に努める。

2. 健全な経営運営に努める

- 1) 急性期一般入院基本料 入院1の取得を目指す。

- ①一般病棟用重傷者・医療・看護必要度1の精度向上に努める。

2) 病床を有効的に活用する。

- ①公平に病床管理を行うことでスムーズに入院対応ができる。

3) 全員参加f型の業務改善に取り組む

- ①超過勤務削減のための業務改善を行う。

- ②定時終業を目指した多様な勤務体制やリリーフ体制の構築を図る。

3. 看護の質の向上に努め看護実践能力・マネジメント力を備えた看護師育成に努める。

- 1) クリニカルラダー教育の構築を図る。

- 2) 専門分野スタッフの育成を行う。

(救急看護、認知症ケア看護、がん・緩和ケア、災害看護、周産期、小児など)

## 院内活動計画お知らせ 今後の患者会、がんサロンなどの活動計画をお知らせします。

### ★平成 30 年度くま川がんサロン計画

日時：第 4 水曜日、13：00～（1 時間程度） 場所：もちの樹（患者さん図書室）

|         | 日時        | 内容          | 講師・その他    |
|---------|-----------|-------------|-----------|
| 平成 30 年 | 7 月 25 日  | 先生からのお話し    | 総合診療科医師   |
|         | 8 月 22 日  | 理学療法士からのお話し | 理学療法士     |
|         | 9 月 26 日  | 栄養士からのお話し   | 栄養士       |
|         | 10 月 24 日 | 緩和ケアについて    | 緩和ケア認定看護師 |
|         | 11 月 28 日 | 感染予防について    | 感染管理認定看護師 |

### ★平成 30 年度清流ハートクラブ（心臓リハビリテーション患者会）活動計画

日時：第 4 木曜日、14：00～15：00 場所：3F 講堂

|         | 開催日       | 内容                   | 担当         |
|---------|-----------|----------------------|------------|
| 平成 30 年 | 7 月 26 日  | 心臓病について              | 循環器内科医師    |
|         | 8 月 23 日  | 救急対応について             | 看護師        |
|         | 9 月 27 日  | 薬の効果・必要性             | 薬剤師        |
|         | 10 月 25 日 | 先生からのお話し             | 医師         |
|         | 11 月 22 日 | 心疾患の検査について           | 検査技師       |
|         | 12 月 27 日 | 座談会（減塩弁当食事会）※ 12：30～ | 役員、心リハスタッフ |

### ★平成 30 年度ひまわり会（乳がん患者会）活動計画

日時：原則偶数月の第 3 金曜日（8 月は第 4 金曜日）、14：00～（1 時間程度） 場所：3F 第一研修室

|         | 日時        | 内容                                 | 講師・その他            |
|---------|-----------|------------------------------------|-------------------|
| 平成 30 年 | 8 月 24 日  | 講演「ホルモン剤について」<br>講演「ホルモン療法中の生活の工夫」 | 薬剤師<br>乳がん看護認定看護師 |
|         | 10 月 19 日 | 講演・体験「乳がん術後の下着について」                | 下着メーカー担当者         |
|         | 12 月 22 日 | 講演・実技「アロマでリラックス」                   | ※別途費用がかかります       |

★その他：レクリエーション 第 1 木曜日：アロマセラピー 14：00～

第 2、3 木曜日：カラーペインティング 10：00～

※問い合わせ先：医療福祉連携室（Tel：0966-22-2191（内線 240））まで

## 連携施設 探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。

そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は「花みずき」さんです。

## 「花みずき」 Vol.20

### 【施設の特徴】

「花みずき」について  
春になると白やピンクの花が咲き誇り、私たちを楽しませてくれる「ハナミズキ」。その花言葉は『永久性』、『返礼』、『私の想いを受けてください』となっています。  
これまでの人生、長きにわたりご家族のため懸命であってこられた「あなた」への、ご家族からの愛と感謝のお気持ちの一助となりたいとの願いを込めています。

私たちは、あなたの人生（物語）を尊重し、向かい合ったケアをめざします。

私たちは、家庭的な雰囲気の中で、思いやりのあふれる日常になることを心がけます。

私たちは、温かい地域の方々と豊かな自然につつまれた中で、健康に、元気に、皆で仲良く、安心して楽しい生活ができる様、あなたの暮らしのパートナーとして支えます。

### 【サービス対象者】

要支援 2 から要介護 5 の認定を受けた認知症の方

### 【サービス内容】

認知症対応型共同生活介護施設

### 【地域の皆様へ一言】

昨年の 5 月の開設より早くも 1 年が経過しました。開設時より地域住民の皆様には何かとご支援・ご協力頂き感謝に尽きません。

この久米地区にはご高齢の方が気軽に買い物ができる商店が無くなりつつある中、いつまでも地元で買い物が出来たらとの声を聞き不定

期ではありますが、当施設にて朝市を開催させて頂いております。この朝市も地域の方に定着しつつあり、回を重ねるごとに来て下さる方が増えており職員一同喜んでおります。

今後とも、地域の憩いの場となるような施設創りを目指して参ります。どうぞ暖かい目で見守って下さればと思います。

### 【お問い合わせ先】

TEL：0966-42-1118 FAX：0966-42-1125 施設長 松浦 暁



### 【訪問者の感想】

施設名の由来となった「花みずき」ですが、地域の皆様に恩返しをしたいという気持ちで命名されたそうです。お話を伺った際にも、その熱意がとても伝わってきました。

私が訪問した時、地域の方が施設にニッケの葉を差し入れられ、スタッフと利用者の方とでおまんじゅうを作って食べられていました。施設と地域住民の交流も盛んで、地域に密着した施設だと感じました。

## 出前講座開催中!

当院では地域みなさんに向けて医療に関するさまざまなテーマを設け、出張出前講座を行っています。集会や勉強会など要請、その他こんな話を聞きたいなどご要望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

人吉医療センター 医療福祉連携室 Tel: 0966-22-2191 (内線 240)

| 名称       | 内容   | 講師        | 所要時間(目安) |
|----------|--|-----------|----------|
| 天使のちえぶくろ | 小児レクチャー(子どもの病気に対する処置の方法等)<br>・発熱、痙攣(15分) ・水の事故 心肺蘇生法(60分) ・嘔吐下痢(10分)<br>・手洗い実技(15分) ・インフルエンザ(10分) ・RSウイルス(10分) | 小児科医師、看護師 | 1時間~1時間半 |
| 命のエレキテル  | 心肺蘇生法、AED講習  | 救急医師、看護師  | 1時間~1時間半 |
| 性教育      | 性感染症等について  | 産婦人科医師    | 1時間~1時間半 |
| 看取り研修会   | エンゼルケア(講演)   |           |          |
| その他      | エンゼルメイク(実技)  | 緩和ケア認定看護師 | 1時間~1時間半 |
|          | 禁煙、薬物乱用防止、飲酒について   | 外科医師      | 1時間~1時間半 |
|          | 認知症について  | 認定看護師     | 1時間~1時間半 |
|          | 感染症について  | 認定看護師     | 1時間~1時間半 |
|          | 褥瘡処置について   | 認定看護師     | 1時間~1時間半 |
|          | 疼痛について   | 認定看護師     | 1時間~1時間半 |
|          | 生活習慣病の予防・改善の食事   |           | 1時間~1時間半 |
|          | 骨粗鬆症の予防のための食生活(骨を丈夫にする食事とは?)   | 管理栄養士     | 1時間~1時間半 |
|          | がん予防のための食生活  |           | 1時間~1時間半 |
|          | 食欲低下時の食事の工夫(がん治療中、ターミナル期)  |           | 1時間~1時間半 |
| 健診について   | 臨床検査技師   | 1時間~1時間半  |          |

6月10日、平成30年度「熊大病院群卒後臨床プログラム説明会」にプログラム責任者、研修医2名と事務の4名で参加しました。

各医療機関のプレゼンのあと、各ブースでの説明会です。当院ブースへは9名の学生の方にお越しいただきました。ありがとうございました!

今度はぜひ当院へ見学に来てください。お待ちしております。



## 新任紹介



**川内 健太郎**(協力型・臨床研修医)  
最終卒業校: 熊本大学  
趣味: 硬式テニス  
モットー: まずは笑顔で

自分の性格: 真面目

自分のコマーシャル: 済生会熊本病院から4ヶ月間研修をさせて頂きます。食べ物と温泉でリフレッシュしながら一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



**耕 夏実**(予防医療センター・看護師)  
最終卒業校: 熊本大学  
趣味: 料理、旅行  
自分の性格: 優柔不断

自分のコマーシャル: 一日も早く仕事に慣れるように頑張ります。よろしくお願いします。



**春口 裕子**(医事課・クラーク)  
最終卒業校: 熊本学園大学  
趣味: 旅行、韓国語、書道

好きな言葉: you must be the change you want to see in the world (この世で見たいと願う変化にあなた自身になりなさい by ガンジー)

自分の性格: マイペース

自分のコマーシャル: お世話になった地域の皆様に恩返ししたいです。笑顔で頑張ります。



**岡村 萌**(医事課・クラーク)  
最終卒業校: 南陵高校  
趣味: 読書  
モットー: 笑顔

自分の性格: 明るい

自分のコマーシャル: 頑張りますので、よろしくお願い致します。



**寺田 綾子**(医事課・クラーク)  
最終卒業校: 熊本県立球磨工業高等学校  
モットー: 休む時は休む! とりあえずやる!  
好きな言葉: なんとかなる!

長所: 短所: 熱しやすく冷めやすいが、また熱する!  
自分のコマーシャル: 1ミリでも皆さんのお役に立てればと思つてます。元気に仕事頑張ります!

## 6月の勉強会報告

6月18日(月)第64回人吉・球磨最新医療研究会

「糖尿病診療の最前線~合併症の発症・進展阻止のために~」  
熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学 教授

荒木 栄一先生

6月19日(火)第93回人吉乳腺カンファレンス

「診断に至るまで2年間に3度のMRIを撮影し大きな変化を来した浸潤性乳管癌の1例」

当院 臨床研修医 的場 祐二先生  
「術後腫瘍予防のため乳腺全摘後のドレーン抜去を遅らせたパスの変更」

当院 看護部 告川 咲月 看護師長  
「微小甲状腺癌に対する取扱い-アクティブサーベイランス」

当院 臨床研修医 木下 聡先生  
「当院で施行できる進行甲状腺癌に対する放射線コードによるアブレーションの紹介」

当院 画像診断センター 西迫 正悟 放射線技師

